

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年5月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400107
法人名	浩愛会
事業所名	グループホームひいらぎ
所在地	鹿児島県垂水市柘原625番地2 (電話) 0994-35-3686
自己評価作成日	平成28年2月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年3月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

法人理念を元にして作られた事業所理念「思い・願いを大切に笑顔で明るく楽しい生きがい作り」を基本として職員一人一人が、入居者様の一日一日を楽しく安全に過ごす事が出来る様に手伝いをさせていただき思いで働いている。入居者様が、在宅時と変わらない生活が出来る事を目指しています。隣接の小規模多機能ホームとの連携により、各種行事を行って近隣住民との交流を図っています。自家で収穫した物を分けて下さる事も多く差し入れられた物を入居者様が下ごしらえして作った料理が食卓を飾り入居者様が楽しく食事が出来て笑顔があふれる場所です。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

【理念について】

本年度より理念を基に事業所目標を設定し、目標に対する職員個人の目標を設定し、2ヶ月に1度個別面談を実施して個別目標の進捗状況を管理者と確認し合っている。また、その際に職員の意見や要望を詳細に把握し、事業運営の改善に反映させている。

【介護計画の作成】

毎日「実績記録」を記入し、介護計画の短期目標の達成に向けて状況を確認し、モニタリングにつなげている。また、入退院や状態が変化した場合は速やかにアセスメントを聴取し、主治医の意見も反映させた介護計画を作成し、担当者会議を踏まえて関係者に説明し交付している。

【看取りへの対応について】

看取りを行ったことで、今後の事業所の看取りへの対応や重要性、心構えについて、職員間でも話し合う機会が増えた。今後さらに看取りへの対応が十分にとれるよう、研修の充実で職員のスキルアップを図り、看護師や医師との連携を強化し、チームで支援する体制を整えていきたいと考えている。

【地域交流について】

地元出身の利用者が多いため、散歩や買い物、地域の運動会等で会話を交わしたり、野菜のお裾わけをいただくなど日常的に地域の方々と交流している。また、個別に希望する外出先にも可能な限り対応し、馴染みの関係継続に配慮している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	今年度半ばより個人目標設定が行われ、理念に沿った目標の設定となっているので、管理者と職員が二月に一回以上の面談を行い理念の確認と目標を達成出来る様にしている。	いつでも目に付き意識できるよう玄関やフロア、事務所に理念を掲示している。本年度より理念に対する年度目標を設定し、職員個人の目標まで設定しており、2カ月に1度、個人目標達成に向けた進捗状況を管理者と職員が個別面談で確認し、理念の理解と共有の実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	住宅地の中に有り、近所との触れ合いは多い、入居者様も地元の方が多く旧知の仲なので日々の挨拶や訪問なども有り交流出来ている。	地元出身の利用者が多いため、散歩時に地域住民と挨拶を交わしたり、知人の来訪が頻繁にあり、日常的に交流の機会が多い。また、海岸清掃や地域の運動会に参加したり、地域住民と県下一周駅伝を応援するなど楽しく過ごしている。行事の際はボランティアによる慰問も多く、駐在所の警官も立ち寄り行事に参加されるなど地域とのつながりを大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	季節行事で近隣住民に来ていただき毎回違うテーマで寸劇を行い、笑いながら理解してもらえるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の話の中で、地域の問題点を地域・役所を交えて解決策を探る事が有り、出て来た意見で活かせるものは、取り入れる様にしている。	家族や民生委員、公民館長、市役所職員や地域包括支援センターの職員、駐在所の警官の参加も得て、2カ月に一度開催している。公民館長が地域の認知症カフェを引き継ぐことから、運営面や地域への情報発信等の課題解決に向けて、今後はカフェの拠点を事業所が行ってはどうかと会議で話し合うなどメンバー間での意見交換が活発に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や市主催の研修会他で担当者与会った時は、挨拶程度でも話をする様にして相互の情報を交換して協力関係を築けるようにしている。	行政職員とは運営推進会議や認定申請時、また、相談事のために訪問したり電話で確認を取るなどしている。行政からも利用状況の確認や対応についての相談を受けたり、研修の案内を受けたりするほか、職員でつくる劇団に研修会での出演依頼をもらうなど、相互に協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	事業所目標の中に言葉による身体拘束の防止が入っていて、法人の委員会報告や勉強会へ出席して拘束の理解に勤めている。直接的な拘束は無いが、つい出してしまう言葉による拘束が課題である。	年1回身体拘束廃止委員会主催の勉強会を実施するほか、毎月委員会を開催して身体拘束をしないケアの実践に向けた話し合いを行っている。話し合われた内容は各事業所に持ち帰り、ケア会議で確認、情報を共有し合っている。言葉による拘束については、忙しいとつい「待って下さい」と言ってしまうことがあるが、言葉の拘束に当たるため、年度目標に挙げて意識付けを図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人の研修会や運営推進会議等での情報をケア会議で職員へ伝え共有して、虐待防止を図る様にしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人による年1回の権利擁護の研修は、全職員が参加を義務付けられているので、学ぶ機会は有るが、後見制度は実用に接しないので、漠然とした感があり理解するのに時間が必要。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書を見ながら説明を行っている。疑問点が無いか確認しながら進めているが、終了後に解らない事や疑問点が出て来たら、いつでも連絡して頂ける様に伝えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会や面会時に要望などの有無を尋ねているが、要望を伝えられる御家族は少ないのが現状である。要望が出た時は、早急に対応出来る様にしたい。	利用者の意見や要望は、日常の何気ない会話から汲み取ることが多く、利用者同士の相性など難しい事案についてもなるべく話を聞き事情を説明するなど理解につなげられるよう努めている。家族には面会時に意見を尋ねているが、あまり意見が聞かれないため、会話の内容から思いを汲み取るよう努めている。把握した内容は申し送り時やケア会議で情報を共有することで意見の反映を図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	個人目標の進捗状況把握のための個人面談を二か月に1回以上行う事になっているので、面談時に出た意見を反映出来る様に努力している。	管理者は日頃から職員の言動に注意を払い声をかけるなどを心掛けて接している。毎月のケア会議や2ヵ月に一度ある個別面談時に職員の意見や思いを聴取するなど、職員が意見を伝える機会が多い。休暇の取得については、勤務表作成時に希望をとり、可能な限り対応している。異動については管理者や経営者らの協議の下、利用者に影響のないよう配慮している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	厳しい環境の中では有るが少しでも改善出来る様に努力されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人の勉強会や事業所毎の勉強会・外部の研修会に派遣して、スキルアップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>各行事への招待や他施設の行事参加で職員との交流を行い情報交換してサービスの改善が出来る様にケア会議などで報告している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御家族や前の施設からの情報を基にご本人様の様子を見ながら無理の無い様に信頼関係を築き快適な暮らしが出来る様心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族の要望・困り事を把握して、入居者様の状況を説明して不安の解消に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御本人・御家族の要望をよく聞いて、ケア会議でスタッフ全員で協議して必要なサービスを提供出来るようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	御本人と共に生活している一員として接し家族のような関係を作り日々の生活の中で出来る事は、して頂き自宅に居ると思われる様にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様を自分では見る事ができない御家族の代わりにスタッフがお手伝いさせていただいている思い出接し入居者様の情報を伝え見えない処の絆を結べる様にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまでの御本人の築いてきた関係を絶たない様に支援している。	入居時に人や場所など馴染みの関係を聞き取るとともに家族や友人知人らとの面会も自由に行えることを説明している。また、日常的に電話や手紙の取り次ぎ、訪問等を家族と職員が協力し合って支援しており、個人の希望する外出先にも随時対応することで馴染みの関係が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係性を把握して、トラブルを未然に防げるように、様子観察し早目の対応を心掛けている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	何らかの形で、退居になられても、行事への招待や挨拶・相談など必要な支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様の意向を第一に思い、御家族との関係性の中で、御本人の思いが叶えられる様に援助している。	利用者や家族の意向は介護記録や申し送りノート、業務日誌等に記載し、申し送り時やケア会議等で情報の共有を図っている。特に連絡ノートについては、職員の気付いたことを自由に記入できるノートとして活用しており、職員全員がこまめに記入し、確認することができている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御家族やサマリーを基本情報としてスタッフのかかわりにより得た情報を分析して共有して経過を把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	御本人の出来る事を大切にしてスタッフの情報を活かしてその方に合った一日の過ごし方を検討している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人の意向を基に御家族、スタッフの情報を織り交ぜながらケア会議で検討し快適に過ごせる様に計画を作成している。	短期目標に沿って支援できているかを「実績記録」にて毎日チェックすることで目標達成の実現を目指すとともに、毎月のケア会議や3ヵ月毎にモニタリングを実施して介護計画に反映させている。また、本人家族の意向を基にかかりつけ医の意見を反映させた計画を立てており、状態に変化がみられた場合には、速やかにアセスメントを取り、介護計画を見直し再作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を参考にして、スタッフの情報を参考にして計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御本人の要望を実現出来る様スタッフの入居者様との会話から出る本音を取り出し実践できるように努力している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元出身の入居者様が多いので、各種行事で来られる参加者の中に旧知の方が居たりして喜ばれる事が多々ある。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御本人と家族の意向を訊き、これまでの関係を絶たない様に主治医との連携を図り、緊急時の対応の為関連病院との連携も図っている。	入居後も本人家族の希望するかかりつけ医で受診できるよう家族と職員が協力しており、受診の際には「バイタル、食事、排泄状況表」を医療機関に提示することで、日々の状態を医師に伝えている。また、受診時の内容は連絡ノートや申し送りノートに記録して情報の共有を図り、家族にも受診前後に連絡することで状態や医師の指示等を伝えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者様の異変を感じた時は、直ちに看護職員へ伝え適切な対応が出来る様にしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、当該病院の担当者と連携して、情報を集め適切な対応が取れる様に連絡している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に終末期や重度化した時の対応を訊く事になっているが、入居時点での入居者様、御家族様の意思がはっきりしていない事が多い、状態に応じて早目の説明、意思確認を行っている。	契約時に「入居時リスク説明」にて確認するほか、ターミナルについての説明も行なっている。また、入居後も本人家族の思いの変化が生じた際には事業所に知らせてほしいと伝えている。看取りを行った経験から、看取りまでの支援の重要性を改めて感じ、管理者会議で話し合うことができた。今後は看取りの勉強会や研修会に参加する機会を増やしたいと考えているところである。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	避難訓練に合わせて、救命訓練（AED・心肺蘇生法）も行い、急変時に備えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回避難訓練（夜間想定火災・地震）を行い緊急時に備えている。</p>	<p>年2回夜間想定を含む災害訓練を隣接する小規模多機能ホームと合同で実施しており、地域住民に参加してもらえよう運営推進会議や来所時等に案内を回している。事業所は地域の避難場所の指定を受けているため、噴火や津波災害も想定した避難経路を確認しており、備蓄に関しても50食以上分の缶詰を3種類と飲料水、米などを備えている。また、備品は懐中電灯や卓上コンロ、防災ラジオが設置されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として御本人の思いを大事にして、これまで積み上げて来た事を傷つけない様な言葉使い・接し方を心掛けている。	権利擁護に関する研修会を行政に依頼して実施しているほか、事業所内でも認知症の勉強会を繰り返し実施することで接遇や人格の尊重、言葉遣いなどを学んでいる。トイレの際はさり気なく声をかけたり、個人カルテの保管方法、またボランティアへの守秘義務の説明など日頃からプライバシー保護に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々接している中で、御本人の思いを感じ取り、御家族と相談しながら御本人の思いを叶えてあげられる様に働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様のペースを大切に、職員側の都合で入居者様を動かしたりしない様に心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	御本人の気持ちを大事にして、違和感を持たれる様な状態であれば御本人の思い通り支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方の、状態に合わせた食事提供を行い、楽しい時間を持ってもらい、出来る方には食事後の片づけや準備をして頂いている。	一か月分の献立を立てているが、お裾分けで頂いたものや菜園の野菜を食材にしたり、食べたいものがあれば可能な限り対応している。菜園の野菜の収穫や調理の下ごしらえ等、一連の工程を利用者と職員が一緒に行い、会話を楽しみながら同じメニューの食事を食べている。秋の焼き芋会ではバームクーヘン作りに挑戦したり、年に数回外出に出かけるなど食べる楽しみを大切にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	御本人の状態を考慮して、食事提供の内容や方法を検討し食事量・水分量を確保できるように努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	御本人の状態により、声掛け～全介助まで一人一人に合わせて口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様の状態に合わせて、定時誘導や観察誘導を行い、トイレでの排泄を維持出来る様又、プライバシーにも配慮した声掛けを行っている。	夜間や体調不良時にポータブルトイレを使用しているが、日中は共用トイレを使用している。おむつやパット等については、なるべく外す方向で考えており、おむつからリハパンツへ、パットから布パンツへと日々の排泄状況を把握した上で調整しており、これら一連の工夫を介護計画に組み込むことで職員が統一した方法で対応にあたることができている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄管理表により排便の状態を確認し便秘を確認すると薬剤を使用しているが、日頃から食事内容を検討してその方に合った排泄管理を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	バイタルチェックで異常が無かったら、午前中に入浴の声掛けをして入浴の希望があれば誘導している。御本人が、昼からを希望されると午後に入浴していただいている。	毎日入浴する方や夜に入浴する方がいるなど、これまでの習慣に合わせて入浴時間を自由に決めてもらっている。また、同性介助の希望があれば対応できることやシャワー浴、足浴等にも随時要望に合わせて対応している。入浴を拒まれた場合は、タイミングを見計らったり、対応する職員を変えるなどして入浴に誘っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	良い睡眠が出来る様、温度調整や足湯などその方に合った方法で休む事が出来る様支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	御本人の状況により手渡し～全介助までその方に合った与薬を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方に合わせて、出来る事は、声掛けしてお手伝いして頂き一人一人の生きがいに近づけている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	隣接の小規模多機能ホームと連携して外食や花見等に行ったり家族と外食・職員付き添いで外食したりして、御本人の希望を叶えるようにしている。	初詣や桜、コスモス等の花見など、季節の変化が感じられるよう、隣接する小規模多機能ホームと連携して外出している。また、個人が希望する買い物やドライブ等にも可能な限り対応できるよう、職員を調整しながら外出を支援している。日頃からよく散歩しており、地元出身の利用者が多いため散歩途中で知人と会い、挨拶を交わしたり、地域住民と世間話をするほか、地域の運動会に参加するなど日常的に交流を図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御本人の状態をみて、御家族との相談により、自己管理～事務所預かりまで、その方に合った管理方法で支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話や手紙等御本人の希望により対応行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、季節・天候を考慮して快適な状態を保てるようにしている。季節感を出すために飾り物の工夫をして、季節の移り変わりを感じてもらい楽しく過ごせる様にしている。	天井の高い明るいフロアには、利用者の作品が飾り付けられ楽しい雰囲気が感じられる。また、畳スペースでは談話をしたり洗濯物たたみを行うなど自由な空間として利用してもらっている。感染症予防として、換気や手すり等の消毒をこまめに行っている。共用トイレは、移動や介助がしやすいよう広くスペースが確保されており、手すりも可倒式タイプが設置してある。浴室の清掃は行き届いており、脱衣場との温度差にもエアコン調整で配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル、ソファ、和室などを使いそれぞれの居たい場所で快適に過ごせる様にしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	契約期間内は、居室をどのように使われても良いと契約時にお伝えしている。変更等が有れば、職員がその都度お手伝いしている。	介護用ベッドとエアコン、タンスが備え付けられており、自宅から馴染みの品を持参してもらうことや入居中は模様替えも自由に行えることを説明している。そのため、テレビや位牌、仏壇を持ち込まれている方もおり、個性ある居室づくりが行われている。居室の掃除は毎朝職員が行っており、時に利用者と掃除をすることもある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様それぞれに合った環境を造れるように、職員間で連携し快適で安全に、より自立した生活が出来る様に工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない